

コメント

1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り1.00人とやや増加しています。中区、東区ともに2.0人となっています。

2. 流行性耳下腺炎

定点当り2.29人とやや減少しています。安芸区では6.5人と特に多くなっています。

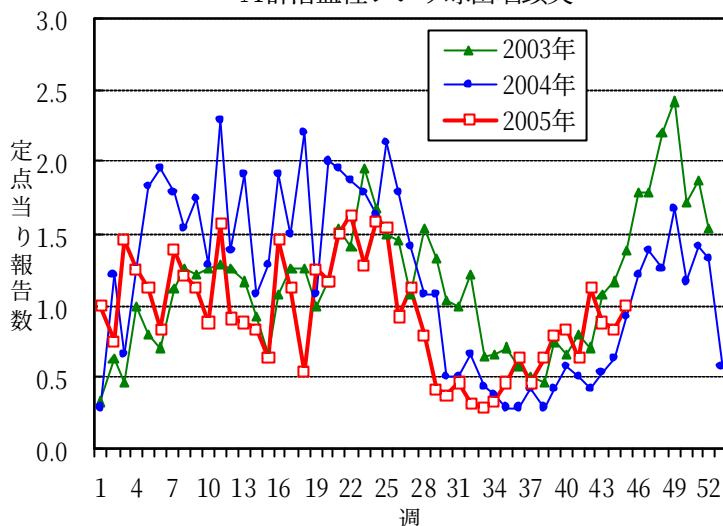
3. 感染性胃腸炎

定点当り3.79人とほぼ横ばいとなっています。

4. インフルエンザ

3人 (定点当り0.08人)が報告されており、すべて安芸区からの報告です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ (注2)	3	0.08	-		麻疹 (注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	2	0.08	0.06		流行性耳下腺炎	55	2.29	0.78	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	1.00	1.09		RSウイルス感染症	9	0.38		
感染性胃腸炎	91	3.79	4.86		急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	34	1.42	1.45		流行性角結膜炎	8	1.00	0.93	
手足口病	-	-	0.59		細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
伝染性紅斑	2	0.08	0.24		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.29	
突発性発しん	16	0.67	0.62		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	
百日咳	-	-	0.02		クラミジア肺炎 (注4)	-	-	-	
風しん	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	0.08	0.07						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 過去5年間の同時期平均 (定点当り)

(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く

(注3) 成人麻疹を除く

(注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
5	アメーバ赤痢	1	7	女性(20歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	10	男性(30歳代) 無症候性キャリア

5類感染症報告状況の推移（定点把握対象分）

			A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎 咽頭結膜熱 インフルエンザ (注1)																			成人麻しん クラミジア肺炎 (注3) マイコプラズマ 肺炎 無菌性髄膜炎 細菌性髄膜炎 流行性角結膜炎 急性出血性結膜炎 RSウイルス 感染症 流行性耳下腺炎 麻しん(注2) ヘルパンギーナ 風しん 百日咳 突発性発しん 伝染性紅斑 手足口病 水痘 感染性胃腸炎									
報告数	広島市	第41週	1	3	15	67	21	1	3	16	-	-	3	-	47	1	-	21	-	-	1	-	-								
		第42週	3	2	27	84	18	1	4	16	1	-	5	-	68	6	-	8	-	3	2	-	-								
		第43週	6	1	21	102	24	-	2	9	1	-	5	-	74	2	-	10	-	1	6	-	-								
		第44週	11	1	20	96	35	1	3	8	1	-	1	-	69	9	-	7	-	-	-	-	-								
		第45週	3	2	24	91	34	-	2	16	-	-	2	-	55	9	-	8	-	1	-	-	-								
定点当り	広島市	第41週	0.03	0.13	0.63	2.79	0.88	0.04	0.13	0.67	-	-	0.13	-	1.96	0.04	-	2.63	-	-	0.14	-	-								
		第42週	0.08	0.08	1.13	3.50	0.75	0.04	0.17	0.67	0.04	-	0.21	-	2.83	0.25	-	1.00	-	0.43	0.29	-	-								
		第43週	0.16	0.04	0.88	4.25	1.00	-	0.08	0.38	0.04	-	0.21	-	3.08	0.08	-	1.25	-	0.14	0.86	-	-								
		第44週	0.30	0.04	0.83	4.00	1.46	0.04	0.13	0.33	0.04	-	0.04	-	2.88	0.38	-	0.88	-	-	-	-	-								
	全国	第44週	0.08	0.08	1.00	3.79	1.42	-	0.08	0.67	-	-	0.08	-	2.29	0.38	-	1.00	-	0.14	-	-	-								
第43週		0.03	0.18	0.90	3.14	0.70	0.40	0.13	0.65	0.01	-	0.18	-	1.15	0.02	0.92	0.01	0.03	0.42	0.01	-	-									
			第44週	0.05	0.18	1.00	3.54	0.92	0.35	0.15	0.62	0.01	-	0.14	-	1.18	0.03	0.90	0.01	0.03	0.37	0.01	-								

注1) 高病原性鳥インフルエンザを除く 注2) 成人麻しんを除く 注3) オウム病を除く

5類感染症報告状況の推移（STD（性感染症）・基幹定点月単位報告分）

報告数	広島市	9月 10月	性器クラミジア 感染症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症			薬剤耐性 緑膿菌感染症		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
			19	11	8	5	5	0	0	0	0	15	13	2	37	23	14	12	5	7	2	1	1
定点 当り	広島市	9月	2.11	1.22	0.89	0.56	0.56	0.00	0.00	0.00	0.00	1.67	1.44	0.22	5.29	3.29	2.00	1.71	0.71	1.00	0.29	0.14	0.14
		10月	1.67	1.00	0.67	0.44	0.22	0.22	0.00	0.00	0.00	1.11	1.11	0.00	5.43	3.57	1.86	2.71	1.71	1.00	0.00	0.00	0.00
		9月	3.24	1.37	1.87	0.93	0.40	0.53	0.66	0.39	0.27	1.45	1.21	0.24	3.81	2.46	1.35	0.88	0.53	0.36	0.14	0.10	0.04
		10月	3.24	1.37	1.87	0.93	0.40	0.53	0.66	0.39	0.27	1.45	1.21	0.24	3.81	2.46	1.35	0.88	0.53	0.36	0.14	0.10	0.04

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	4	男	2005/10/27	鼻汁(拭い液)	インフルエンザA(H3)型
無菌性髄膜炎	3	男	2005/09/28	髄液	コクサッキーウイルスB5型

★集団かぜの発生について

11月15日に、広島市で今シーズン初めての「集団かぜ」による学級閉鎖の報告がありました（東区の幼稚園）。原因がインフルエンザによるものかどうかは、現在調査中です。

集団かぜの初発の時期としては、1999/2000年シーズン以降では最も早く、また、昨シーズンより2か月以上早くなっています。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第45週（11月7日～11月13日）